



April 25-26, 2018
KFC Hall, Ryogoku, Tokyo, Japan
<http://www.m-e-f.info/>

March 26, 2018

2018 Vol.1 MEF Newsletter— MEMS as Key Player Creating New Values for IoT

IoTなどの新しい価値を創造する MEMS は既に主役、MEMS 事業化を MEF で語る

MEF2018 実行委員会 委員長/

東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授 桑野 博喜

●社内に眠る MEMS 技術の可能性を探り、イノベーション推進に向けて MEMS 事業化を図る

第 10 回目の MEMS Engineer Forum 2018 (4 月 25 日、26 日、両国 K F C ホール) が間もなく開催されます。

思い起こしますと第 1 回目は 2009 年で 2008 年リーマンショックが訪れた直後でした。MEMS 技術の動向および MEMS を含むビジネス動向などを踏まえ、MEMS を世界でどのように生かし、世の中を変えて行くかを議論する場をつくることを目的としておりました。聴講参加費無料として展示会社からの出展費用で運営するというコンセプトで出発した本フォーラム運営上は必ずしも楽とは言えませんが、毎年、来場者 700 名前後を数えており皆様には、好評の内に開催を続けております。10 周年の今回は初回にもおいでいただいた世界の MEMS 技術、ビジネスを代表する Kurt Peterson 博士、UCB(当時、現 UCSD)・Al Pisano 教授、Bosch・Udo Gomez 氏などの諸氏も駆けつけていただける予定です。

2010 年の第 2 回目からは上記のコンセプトを掲げつつ、マーケット、ビジネスなど出口側にも討論のスタンスを設けて、例年、欧米、アジアなど世界各地における MEMS の研究や開発、ベンチャービジネスを含む事業化まで、豊富な経験を持つ講師を迎えております。特に最近では、世界の IoT 戦略、情報通信インフラを踏まえた社会システム構築戦略、センサビジネス戦略など上流から下流のビジネスまで目を放すことができない講演をお願いしており、本年はいよいよ MEMS が主役として登場しつつあることが明らかになると思われれます。展示・スポンサーでもこれまでにない、有用な新しい出展社が多く参加致しますので、実ビジネスの場としてご活用いただければと願っております。

さて、10 周年記念の今回は全体を俯瞰する講演として、初日には、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 技術戦略研究センター長の川合知二先生を迎え、日本の技術戦略について論じていただきます。さらに世界各地の MEMS ビジネストrendとスマートシティ実現の観点から初回にも海外からおいでいただいた三氏に加え、Stanford・Tom Kenny 教授、KTH・Frank Niklaus 教授などの海外勢に加え東北大学・中川 敦寛 准教授を始めとして最新の技術動向とともに技術潮流を踏まえた内外の有力研究開発グループからの講演が目白押しです。また、MEMS 市場からのアプローチとして MEMS & Sensors Industry Group、SEMI、YOLE Development などからの発表も今後の指針を得る上で大変に参考になるものと考えられます。

<https://www.m-e-f.info/mef-newsletter/>で過去の MEF Newsletter もご覧いただけます



April 25-26, 2018
KFC Hall, Ryogoku, Tokyo, Japan
<http://www.m-e-f.info/>

IoT などの新しい価値を創造する MEMS は既に主役です。この観点から、今回の MEMS Engineer Forum 2018 には、MEMS 関連の技術者だけではなく、大企業の経営や管理を担っている方々に、社内に眠っている MEMS 技術の可能性を探り、日本の課題とされるイノベーション推進に向けて MEMS 事業化を図ることを目指し是非、本フォーラムにお越し頂きたいと願っております。

● **10 回目を迎える MEF - 10 年を振り返りつつ、今後の 10 年を考える**

既存の技術や製品の置き換えでは無い新しい発想を見出し、新しいビジネスを開拓し、安全・安心なスマート社会を構築するために、MEMS に関連する技術者、経営者の価値も問われることになると思われます。10 周年の Engineer Forum 2018 を通じてこの 10 年を振り返りつつ今後の 10 年を考えてみませんか。